

# 創業支援の「手」はひとつじゃない

商工会では、会員との結びつきの強さを生かして、主に創業後の事業継続の点を重視して支援を展開していきます。

まず創業に際しては、当会の経営指導員が「経営計画」の作成を支援します。現実的で確実性のある計画の作成をお手伝いするだけでなく、その後の計画の練り直しも含めた「伴走型支援」で経営をサポートします。

また、会員を対象とした経営ノウハウに関する勉強会やセミナーを定期的に開催していますので、特に初めて事業を開始する方にもご安心いただけると思います。

継続した事業が展開できることは経営者の方にとって望ましいことはもちろんですが、町にとっても貴重なモデルケースとなっていくはずですので、これからも「頼れる商工会」を目指して皆さまのために尽力します。



町商工会  
太田 稔人 事務局長

## 地元金融機関としてのノウハウで多面的なサポートを

私ももは、地域に密着した金融機関として、これまで培ってきたノウハウを生かし、資金面に限らず多方面からサポートを実施しています。

現在、島田市産業支援センター「おびサポート」にて創業希望者や経営者を対象としたセミナーを開催していますが、今後は、本町の支援機関と協力して、同様のセミナーを企画したいと考えています。町内の創業希望者の皆さまが気軽に参加できるセミナーができればと考えております。

当金庫では、多くの企業の皆さまとお取り引きさせていただいています。また、職員はさまざま商談会へ出席しています。このため、必要に応じて他の企業をご紹介したり、お引き合わせすることで、新たな仕事の掘り起こしや、販路・事業拡大についてもお手伝いできるかと思えます。ぜひ気軽にご相談ください。



島田信用金庫  
川根支店  
原木 孝則 支店長

## 豊富な支援実績と全国ネットワークの強みを活かして

日本公庫は、政策金融機関として、多くの中小企業・小規模事業者に融資支援を行っています。中でも、政府の成長戦略に沿う形で、創業支援の分野には特に力を入れています。

創業融資の件数は年々増加傾向にあり、昨年度は県内で447企業に押し実施しました。最近では、地元の商工会や金融機関などと連携しながら支援を進めていくケースが多くなっています。事業の成功のためには、周りのサポートも重要です。各機関とともに、創業後の事業継続も支援していきたいと考えております。

また、当公庫では全国152支店のネットワークを活用した商談会やセミナーなどの開催、地域金融機関との協調融資による支援など、さまざまな取り組みを行っています。少しでも皆さまのお役にたてればと考えております。



日本政策金融公庫  
静岡支店  
国民生活事業  
山田 彰洋 課長

### 町内での創業をサポートする連携機関

川根本町商工観光課	☎ (58)7077
川根本町商工会	本所：☎ (56)0231 支所：☎ (59)2258
島田信用金庫川根支店	☎ (56)1131
日本政策金融公庫静岡支店	国民生活事業：☎ 054(254)4411

▶町の創業支援に関する情報は、県中部地域5市2町で運用するウェブサイト「起業創業支援ドットコム」でも確認できます。





大井川鐵道青部駅の駅舎を改修して開業した「きっちんはうす ほっと」。経営する地区住民グループのメンバーのうち、この日は原田玉枝さん(一番右)と松岡秀子さん(一番左)が店頭に立った。買い物客に「今日のお総菜」を説明しながら、世間話にも花が咲く。

【地域に足りないものを  
自分たちの手で創る】

日差しが照りつける7月のある日、午前11時過ぎ。大井川鐵道青部駅の駅舎に、次々と近隣の住民が入っていきます。

「うちはおじいさんと2人きりだから、ちょっとずつのお総菜がいつも助かるだよ」今までは、離れたお店へ買い物に行くのが不便だったから、毎日通ってるよ」。

駅舎を改修した店舗で、総菜の販売や軽食を提供する「きっちんはうす ほっと」。訪れる地区住民からは、感謝の言葉が聞かれます。

店舗を経営するのは、原田玉枝さんら地区住民のグループです。青部ににぎわいを取り戻したい、区民が気軽に買い物や世間話ができる場をつくりたい、という思いから創業しました。

「煮物はこうした方が良く、今度はこういうのが食べたいとか、お客さんの意見を取り入れながら、一緒にお店を育てている感じ」と原田さんは笑って話します。

【夢の実現を支える「くつもの手】

開業するまでは戸惑いの連続だったと話す原田さん。

「経営のこと、契約のこと、手続きのこと、補助金のことなど、何ひとつ

# Dream & Future

## 「創業」でつながる「夢の実現」と「町の未来」

知りませんでした。いろんな人に話を聞き、協力してもらい、少しずつ解決していきました」。

原田さんの思いに共感し出資してくれたグループの皆さん、開業まで協力してくれた地区の皆さん、快く駅舎を貸してくれた大井川鐵道、駅舎を改修してくれた大工さん、経営のアドバイスをくれた商工会の経営指導員、町からは資金的な支援の手も。さまざまな分野の人々が手を差し出したからこそ、青部駅での創業という夢が実現したのです。

【「挑戦」が町の未来を明るくする】

創業を成功させるための近道はありませんが、この町には、サポートする手がいくつもあります。ぜひ、そんな支援の手を活用して、あなたの「夢」に一步踏み出してみませんか。

「創業」は、夢の実現のための手段であると同時に、結果としてこの町における職業の選択肢を多様化することにつながります。

創業希望者が、挑戦しやすい風土を育てていくこと、既存事業者が事業を続けやすい環境をつくり上げていくことが、この町の商工業の活性化、ひいては「にぎわいの創出」につながっていくのです。

(特集)創る、この町で(終わり)